

バレーボール大会等の再開に当たっての感染防止ガイドライン Ver.2

大阪中学校体育連盟バレーボール専門部

2021年4月

本ガイドラインは、大阪中学校体育連盟「主催大会開催にかかる感染拡大予防ガイドライン」及び、日本スポーツ協会、日本バレーボール協会から出されたガイドラインを基に大阪中学校体育連盟バレーボール専門部として、大会に関わるすべての人(選手・指導者・保護者・役員等)の生命・健康の安全を最優先に、感染拡大のリスクを最大限に排除し、過去に戻るのではなく「新しい生活様式」にあわせた大会が安全に開催される環境を提供するために必要な対応を踏まえた上で作成されたものである。

1 基準

	大会	活動
大阪モデル「レッドステージ」 非常事態宣言発令	開催不可	各市町村の指示に従って行う。 (対外試合等の禁止)
大阪モデル「イエローステージ」	社会の状況を見ながら開催可	各市町村の指示に従って行う。 (対外試合等 OK)
大阪モデル「グリーンステージ」	開催可	各市町村の指示に従って行う。 (対外試合等 OK)

2 大会実施における留意点

(1) 大会参加者の確認 (大会会場に居るすべての人を把握してください。)

①大会参加確認書の作成、提出

- ・生徒の参加は任意とし、保護者の同意が得られていること。
- ・体調等が記載された大会参加確認書(別紙)を作成し必ず提出する。
- ・確認書 会場校⇒競技委員長⇒専門委員長・地区責任者(2ヶ月保管)

②IDカードや名札などを利用し、所属チームがわかるようにする。

- ・基本となる様式は配布する。(印刷作業は各チームで行ってください)

③会場校は使用許可願(別紙)を提出する。

④健康観察(発熱や風邪症状の場合は参加せず自宅で休養する)は必ず行う。

- ・会場にて発熱や風邪症状が認められた場合は速やかに帰宅させる対応をとる。
- ・学校(顧問等)からの連絡が常にとれる、迎えにきていただくなどの協力体制を整える。(緊急連絡先の把握)



(2) 参加人数 (1会場内 最大50名 (選手・スタッフ・保護者を含む) が目安です。)

① 体育館内でのバレーボール大会についての参加人数 (大阪府バレーボール協会ガイドラインより)

- ・ 6人制1コート内 (18m×9m) 当たり12人を超えない、コート1フロア (31m×19m) 当たり46人を超えないよう (主副審・ラインジャッジ含む) 1コート2チームを基本に考えてください。
- ・ 体育館の設備 (アリーナ面積の広さ、観客席等) が十分に確保できている場合は、主催者側の判断で参加数を拡大できる。

1面に対しての利用人数の決定方法

1人に対してソーシャルディスタンス半径1.5m取るとして、直径3mの円の面積からバレーコート公式範囲の床面積で割った時の人数。

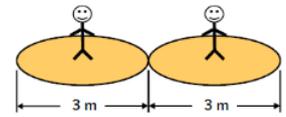
バレーコート (フリーゾーン含む) 公式範囲 31m×19m=589 m²の床面積で割った時の人数

【直径3mの平米数】 ※円の面積で考えています。

$$1.50\text{m} \times 1.50\text{m} \div 3.14 = 7.07 \text{ m}^2$$

$$6\text{人制} \text{【バレーコート } 18\text{m} \times 9\text{m} = 162.000 \text{ m}^2 \text{】 } 162.00 \text{ m}^2 \div 7.07 \text{ m}^2 = \mathbf{22.91 \text{ 人}}$$

$$\text{フリーゾーン含む} \text{【バレーコート } 31\text{m} \times 19\text{m} = 589.000 \text{ m}^2 \text{】 } 589.000 \text{ m}^2 \div 12.560 \text{ m}^2 = \mathbf{50.92 \text{ 人}}$$



(3) 感染の拡大防止 (消毒、換気、「3密」を防ぐ、ソーシャルディスタンスの確保をお願いします)

- ① 移動、更衣、会場内ではマスクを着用すること。(競技を行っているときはマスクを外しても良い。)
- ② チームスタッフ、保護者など直接競技を行わないものはマスクを着用する。
- ③ 主審、副審は、電子ホイッスルの使用を認める。(使用する場合はマスクを着用する。)
 - ・ 笛を使用する場合はマスク、フェイスガード、マウスガード、ホイッスルカバーを使用する。
 - ・ 生徒役員についてはマスクを着用する。(熱中症対策を十分行う)
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒実施の指導
 - ・ 競技終了後は必ず手洗いを行う
- ⑤ 体育館の入り口には受付・消毒液を常備する。
 - ・ 参加確認書の提出 (検温の実施)
 - ・ 大会会場に共用スリッパは置かない
- ⑥ 試合間、セット間は必ず換気をし、ベンチ等は消毒をする。
 - ・ 大会参加チームのすべての顧問で協力する
 - ・ 試合中はプレーの妨げにならないよう換気をする。
- ⑦ 消毒用アルコール、ぞうきん、石けん、ゴム手袋等については、会場校の負担にならないよう各チームで用意する。
 - ・ 消毒用アルコールについては手指用、器具等の消毒用の区別をする。

- ⑧マスク、タオル、給水ボトル、アイスパック等については、個々に管理を行う。
 - ⑨ボール(試合球)については、ボールの劣化を招く可能性があるため消毒はしなくてもよい。
 - ⑩モップや得点板の使用は、使い捨て手袋を利用するなど、感染防止に努める。
 - ⑪ベンチ、ウォームアップエリアはソーシャルディスタンスの確保に努める。
 - ・イスの配置については、座る間隔を開ける。(ベンチが2列になってもかまわない)
 - ・ウォームアップエリアはもうけるが、密にならないように必要に応じて使用する。
 - ⑫観客席は間隔を開けて椅子等を配置し、他の参加者と密になることを避けること
(高齢者、障がい者の介助を行う場合を除く。)
 - ⑬公共の体育館を使用し、観客席が設けられている場合は、掲示物等を利用し密を防ぐ。
 - ⑭更衣室、控え室は広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。
(高齢者・障がい者の介助を行う場合を除く。)
- 更衣室の使用については、マスクを外しての会話や飲食に十分気をつけ、密になる場合は利用人数の制限を行う。退室時は使用チームで消毒を行う。**
- ⑮飲食については、マスクを外し「密」になることが考えられます。周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。(顧問の指導下で昼食を取らせる)
 - ⑯体調不良が出た場合は別室で対応し、保護者との連絡を密に取り、迎えに来てもらうなどの対応を行う。
 - ⑰ゴミの持ち帰りは基本、どの大会でも「持ち帰り」を励行しているが、使用済みのティッシュ等に関しては、必ずビニール袋に入れて持ち帰るよう指導する。

(4) 競技(選手の体調を第一に考えてください。)

- ① 1会場につき4チーム、1日の1チームあたりの最大試合数は2試合を基本とする。
 - ・大会は半日で行う(午前・午後の2部制は可とする。)
 - ・会場内には当該チームのみとする。
 - ・4チームのリーグ戦(1チーム3試合)を行う場合は、試合間を十分とり、選手の健康面を最大限に考慮した設定を行う。(昼食の指導をしっかりと行う。)
 - ・試合間を十分にとり、換気・消毒等をしっかりと行った上でチームの入れ替えを行う
- ②全体を集めての開会式、閉会式、開始式(コール)
 - ・コールは顧問(1名)とキャプテンを集めて競技・審判・会場の注意を行う。
 - ・大会の開会式、閉会式は最小限の人数で行う。(リモートの活用)
- ③あいさつ・コイントス・試合前後の整列
 - ・握手は控え、一礼にとどめる
- ④ミーティング・タイムアウト
 - ・ミーティング(タイムアウト時含む)は密にならないよう距離をとる。
*選手の距離をとった結果、サイドラインを越えることは許される。
 - ・試合前の円陣は行わない。

⑤チェンジコート

- ・チェンジコートを行う。
- ・チェンジコート時の消毒は、移動後のベンチを当該チームで行う。

⑥ハイタッチ・プレー時の声

- ・ハイタッチは腕タッチ程度にとどめ、集まって喜ぶことを控える
- ・大きな声でのプレー、ネット越しの会話は控える。

⑦ベンチ、ウォームアップエリアでの選手・スタッフ

- ・選手、ベンチスタッフはいすに座りマスクを着用する。
- ・競技交代の前にウォームアップエリアで準備を行う。

⑧水分補給

- ・選手の健康を考え、給水のためのタイムアウトを設ける。(夏場)
- ・水分補給用の水筒(ボトル)やタオルなどは個人のものを使用し、できる限り間隔を開ける。
- ・うちわの使用を認める(日本中体連バレー部「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱い)

⑨応援

- ・大きな声での応援は自粛し、間隔を開け、密を避ける
- ・応援は拍手等にとどめ、鳴り物やメガホンは使用しない
*電子ホイッスルを使用する場合、音量が小さく聞こえずらい

⑩モップ等の使い方

- ・使い捨てのゴム手袋を使用するなど、感染の防止に努める。
- ・複数でのモップの使用を控える

⑪生徒役員

- ・生徒役員はマスクを着用する。(熱中症対策を十分に行う。)

(5) その他

①公営体育館を使用する場合は、その体育館の指示に従って運営を行う。

観客の把握ができない場合は、「大阪コロナ追跡システム」を活用し感染の拡大防止に最大限努めること。

②公営体育館を使う場合、(対策を十分とった形で)受付を行い、来場者に対し名簿(確認書)への記入を行う。(検温等の準備をしてください。)

③感染者、濃厚接触者の特定が出来た場合は、速やかに専門委員長へ報告をする。